

2012 国際親善女子車椅子バスケットボール 大阪大会

2012年2月16日(木)・17日(金)・18日(土)

午前10時～ 大阪中央体育館

参加チーム：オーストラリア・カナダ

中華人民共和国・日本

参加無料



長居水泳記録会

3月11日の東日本大震災の影響で大阪市舞洲障害者スポーツセンターのプールが使えなくなり、ふれあい水泳大会が延期(期日未定)になりました。しかし、平成23年9月23日(金・祝)大阪市長居障害者スポーツセンターで水泳記録会が行われました。参加人数は112名6種目に分かれてタイムを競い合いました。

大阪障害者スポーツ指導者協議会もボランティア協力で参加しました。

研修会

平成24年2月25日(土)

受付 13:00

講義及び実技 13:30～15:00

(体育館上履き要)

場 所 大阪府立障害がい者交流促進
センター(ファインプラザ大阪)

研 修 種 目 フライングディスク

大阪障害者スポーツ協議会

創立20周年記念講演会

平成24年1月21日(土) 参加費無料(先着100名)

受付 午後1時～

講演 午後1時30分～午後3時

場所 大阪市長居障害者スポーツセンター

記念パーティー(会費制 1000円) 午後3時30分～

講師：一般社団法人パラリンピアンズ協会 会長

河合 純一 氏

演題「スポーツ基本法の改正と障害者スポーツの可能性」

スポーツ基本法は、昭和36年に制定されたスポーツ振興法(昭和36年法律第141号)を50年ぶりに全部改正し、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるものです。

編集後記

協議会も20年を迎えました。人で例えるなら成人の日を迎えたのでしょうか。

振り返ってみると、いろいろなボランティアを経験させてもらいました。障害のある人ない人、関係なくたくさんの人と交流することができました。

また、研修会で行ったテニシング講習は、今も役に立っています。

やはり研修や講習は大切ですね(笑)

そして20年の節目に、私も改めて初心に戻り、これから何年続けていけるのか解らないけど、障害者スポーツに関わることができればと思います。

(広報・はるはる)



協議会だより

平成23年12月24日 第67号

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区长居公園1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成23年度、大阪障害者スポーツ指導者協議会は20周年を迎えました

20周年に想うこと

大阪障害者スポーツ指導者協議会 会長 松本 晃

私が障害者スポーツと関わりを持つたのは極めて安易な動機でした。

今から28年程前の1983年(昭和58年)、当時私は全日本スキー連盟の準指導員という資格を持っており、さらに上の正指導員の資格を取るため受験勉強のさなかでした。

正指導員の試験科目の中に指導法というのがあり、前年までは雪上で模擬指導を行い採点されていたのですが、この年から指導実績という単位を16単位取らなければいけなくなりました。

分かりやすく云うとスキー学校の指導員として2時間教えると1単位(午前2時間、午後2時間と1日指導して2単位もらえる)つまり16単位取得しようとする8日間スキー場で指導しなければならないのです。

雪なし県の大阪にはスキー学校そのものが無く受験者それぞれ伝を頼って兵庫や長野県のスキー学校に週末通っていました。

スキー学校に知り合いのいない私は大阪府スキー連盟主催のスキー教室に参加させてもらい、何とか10単位は取ったのですが残り6単位をどうしようと悩んでいました。

そんな時、大阪市障害者スキー教室の講師が日程の連絡ミスか何かで欠員が出たので行ける人を探しているという情報を聞きつけ教室の趣旨も分からず応募したのです。

いざ雪上に出てみて驚いたのは両下肢の無い人、片大腿切断の人、脳性麻痺の人、全盲の人・・・、ありとあらゆる障害を持った人達が実に器用に滑っていたことです。

私が担当したのは上肢に障害のあるうら若き女性2名でした。先輩指導員のアドバイスを受け悩みながらも自分なりに工夫し何とか講習を終えることができました。

うまく言えませんが、この時の感動がその後の私の人生に大きな影響を与えてくれたような気がします。指導者協議会ができて20年、これからもこの活動をライフワークとして続けていきたいと思います。

大阪障害者スポーツ指導者協議会が20年を迎えることができたのは、やはり会員の皆様が障害者スポーツに関わり活動をしてきたからだと思います。会員数は1468名になり年月の重みを感じます。また活動のなかで会員同士の交流が深まり、輪が広がればと思います。

そして時が変化しつつも大阪障害者スポーツ指導者協議会の歴史を積み重ねることができればと思っています。(広報：松浦 春代)

大阪障害者スポーツ指導者協議会は、平成 3 年に連絡会として発足され平成 11 年に協議会に改名されました。平成 3 年から平成 23 年の 20 年は大きな節目となりました。

設立趣旨

平成 3 年 4 月に地域の障害者スポーツ大会等のボランティアやスポーツ技術を指導できるグループとして、大阪市、及び大阪府の身体障害者スポーツセンター等が開催する「身体障害者スポーツ指導員養成研修会」を修了した指導者を対象に、大阪市長居障害者スポーツセンターの職員、関係者、ボランティア等が中心となり「大阪障害者スポーツ指導者連絡会」の活動がスタートしました。

経 緯

○平成 3 年 4 月

「大阪障害者スポーツ指導者連絡会」の活動が開始される。

○平成 9 年 11 月 2・3 日

・大阪において「第 33 回全国身体障害者スポーツ大会（愛称：ふれ愛びっく大阪）」が開催され、「大阪障害者スポーツ指導者連絡会」より数多くの障害者スポーツ指導員が協力を行う。

○平成 11 年 4 月 1 日

・財団法人日本身体障害者スポーツ協会の「障害者スポーツ指導者協議会設置要項」の定めにより、都道府県単位の障害者スポーツ活動団体としての活動が含まれることとなり、大阪府内の障害者スポーツ指導員の会員化と活動補助金の交付団体となった。これを受けて「大阪障害者スポーツ指導者協議会」と改名する。

○平成 13 年 10 月

・協議会の活動 10 周年を記念して、神戸製鋼ラグビー部「平尾誠二」氏を招き、記念式典と講演会を開催。

○平成 16 年 10 月

・これまでの障害者スポーツボランティア活動が評価され、大阪市社会福祉協議会と大阪市から感謝状と表彰状の授与をされる。

○平成 20 年 4 月 27 日

・ホームページの開設を年次総会時に発表。

・堺市が政令指定都市となったことを踏まえ、大阪府・大阪市・堺市の障害者スポーツ振興担当組織の 3 者による障害者スポーツに関する意見交換会を開催し「大阪の障害者スポーツに関する関係機関連絡協議会」を設置。

○平成 22 年 7 月 1 日

・平成 22 年 11 月 21 日(土)・22 日(日)に大阪府内で開催される「2010 年第 5 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」について、各大会会場責任者として協力。

主なボランティア依頼団体

・大阪府、大阪市等の行政主体

・大阪市長居障害者ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ等の身体障害者 A 型施設の障害者ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ。

・都道府県・指定都市障害者ｽﾎﾟｰﾂ協会（大阪府・大阪市）である障害者ｽﾎﾟｰﾂ振興組織

・障害者スポーツ競技団体協議会登録団体

・その他、市町村等の障害者団体、施設、サークル等。



山口大会に初めて参加して

大阪市選手団 水泳選手 笠川 弘志

今回初めて、山口大会に出場させて頂いた事で私は過去にない様々な驚きと喜びそして新しい仲間との出会いを体験させて頂いた事は自分の人生にとって大変貴重なことと感じています。

新大阪駅に集合した時、選手団が大阪市のユニフォームを全員が着用していることもあるせいか「今から山口大会にいくねんな～」という緊張感と今までに味わったことの無い「やる気！」感に自分自身が包まれていくのをすごく感じました。

開会式に参加してびっくり、全国大会に参加するのが初めての自分にとっては「すごい！」という一言で胸が一杯になりこんな体験はなかなか出来ることでは無いと改めて感じました。開会式終了後、明日の試合に備えてたっぷり 1 時間 30 分ぐらい練習を重ねた後、宿舎に向かいました。

試合当日、体調は絶好調！50m 自由形をなんと自己ベスト 41 秒台、しかも金メダルも頂き有頂天になり、他の仲間もほとんどが金メダル獲得という結果で、その日の夕食もその話題で盛り上がり団体チームとして一つになっていく感じが感じ取られました。

次の日、2 種目目のエントリー自由形 25m でも絶好調！自己ベスト 18 秒台をマークしたのですが、一人東京からのエントリーされた方が 15 秒台という速さで金を持っていかれて、自分は銀メダルという結果になってしまいました。しかし、勝負というのは、負けた時の悔しさが今後の楽しみに変わるものでこの経験を糧に次の大会に、もう一度出場し自己記録を塗り替えていくという新たな目標ができた事に喜びを感じました。

閉会式



個人競技 選手団別メダル獲得数

選手団	陸上競技			水泳			アーチェリー			卓球			フライングディスク			ボウリング			合計		
	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅
大阪府	28	14	10	10	6	2	1	0	0	3	2	4	8	5	5	1	2	1	51	29	22
大阪市	14	13	1	12	4	0	0	0	1	3	2	0	1	1	1	1	1	2	31	21	5
堺市	6	5	1	5	1	0	0	0	1	3	0	0	1	0	4	0	1	0	15	7	6



第11回全国障害者スポーツ大会

「おいでませ！山口大会」

～君の一生けんめいに会いたい～



平成23年10月22日(土)～24日(月)第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」が行われました。開会式の朝、少し雨が残っていましたが式が始まる頃にはお日様が顔を出してくれました。全国から集まった選手・役員そして観客の熱い声援拍手でスタジアムが熱気にあふれていました。また、空に浮かんだ雲や優しく吹く風は皆をやさしく包んでくれました。



大阪府選手団



大阪市選手団



山口市選手団



サポーターの皆さん



炬火点火

個人競技には、府、2市とも出場しています。団体競技において大阪府はサッカー、大阪市はバスケットボールとバレーボール（聴覚障害者の部）に出場しています。

サポーターの皆さんは、各競技ごとに担当して頂いているので毛布の調達や、お弁当の引換、選手へのサポート等を行っています。だから全国から集まった選手・役員は迷うことなく動くことができました。

個人競技

団体競技

正式競技	
陸上競技	
卓球（サウンドテーブルテニスを含む）	
水泳	
フライングディスク	
アーチェリー	
ボウリング	
車椅子バスケット	
ソフトボール	
バスケットボール	
グラウンドソフトボール	
フットベースボール	
バレーボール	聴覚障害者の部
	知的障害者の部
	精神障害者の部
サッカー	

目的

第11回全国障害者スポーツ大会は豊かな自然や歴史に恵まれた山口の地で開催される全国大会である。

この大会では、スポーツを通じて“すべての人が共に支え合い夢と感動を分かち合う大会”を目指し、「共に支え合う社会を実感する大会」、「みんなで夢と感動を創造する大会」、「交流の輪を広げ山口の元気を発信する大会」を基本方針として、国民の障害に対する理解を一層深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

（第11回全国障害者スポーツ大会実施要綱より抜粋）

今回の取材は、水泳競技を中心にしました。皆さんに協力をして頂きました。

おいでませ 山口大会参加について

大阪府選手団 水泳コーチ 森近 秀斗

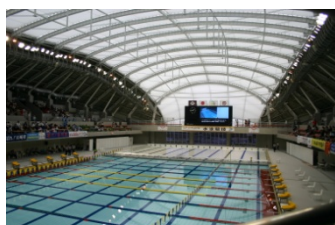
今回初めて大阪府から要請を請け、10月22日～24日に開催された『おいでませ！山口大会』の水泳チームに帯同し参加してきました。

普段から接点のあるメンバーもいましたが、初めて会った選手、会った事はあるが話した事がない選手などもあり、私自身どのように接していこうか、選手間の関係をどのように繋げていこうかと少し不安でしたが出発までの練習会を重ねるうちに不安も解消され、大会へ参加しレースが始まる頃にはチームとして強い絆ができていたように思いました。

試合が始まれば選手を残りのメンバー全員大きな声で応援し試合に出ている選手にはとても心強かったとおもいます。他競技は観られませんでしたでしたが、今大会のスローガンでもある「君の一生けんめいに会いたい」の通り全選手が一生懸命に全力を出しレースに臨んでいる姿には感動しました。

私は今大会が初めてだったので要領が解らずムードメーカーのようなスタンスで参加しようと決め行動し、レース前緊張して固まっている選手に声をかけて回っていました。

レース後ミーティングの時に一人の選手に「あの時に最後まで声をかけてくれたから、すごく楽に泳げました。あの言葉は凄いなと思った」と言われて、何気ない一言で意識せずいつも通りにかけた言葉だったのに、それを言われた時に改めて声かけの重大さに気づかされました。今大会を終え、今後選手たちは来年また選ばれるように一生懸命練習を積んでくると思うので、私が来年選ばれた時にはどの選手が選ばれても日頃の練習の成果が十分に発揮出来るようにサポートしたいと思います。その為にもレース前の声のかけ方やタイミングなどを見直し、岐阜大会に役立てるような一年にしたいと思います。



山口きらら博記念公園水泳プール



おいでませ！山口大会のサポーターとして

大阪市水泳担当サポーター 藤本 健嗣

このボランティアまでは、福祉という仕事の良さが分かりましたが人と関わることの良さ、人の暖かみというものが感じることができ私にとって新しい発見が出来ました。

日を追うごとに楽しくなっていていきその中でも、特に最後のリレー、皆さんの応援する姿は目にやきついています。ただこの山口大会が終わりになっていくにつれて、もうボランティアが無くなると思うと切なくなっていくTシャツにメッセージを書いた物もらって見たときに、最近涙腺が緩かったので正直危なかったです。私自身の仕事というものは何もしていませんが本当にいい体験ができた本当にありがとうございました。最後に私からのメッセージとして水泳をいつまでも続けてください。